

[21]傘類品質基準(1/3)

1. 表示事項

○:必須

表示事項	適用規格	判定基準	特例判定基準及び備考
○ 傘生地の組成	家庭用品品質表示法 (雑貨工業品品質表示規程)	表示が適正であること	
○ 親骨の長さ		表示が適正であること	
○ 取扱い上の注意		表示が適正であること	
○ 表示者名		表示が適正であること	
○ 原産国	不当景品類及び 不当表示防止法	表示が適正であること	
○ その他の表示		表示が適正であること	

2. 製品検査

試験項目	試験方法	判定基準	特例判定基準及び備考
○ 外観・縫製	—	異常がないこと	

3. 素材確認

試験項目	試験方法	判定基準	特例判定基準及び備考
混用率 (繊維、素材鑑別)	JIS L 1030 他	—	・組成表示がある場合は、組成表示に適合していること

4. 染色堅ろう度

試験項目	試験方法	判定基準	特例判定基準及び備考
○ 耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色 3(4)級以上	・晴雨兼用傘に適用 ・()内は、日傘に適用
○ 摩擦	JIS L 0849 II形	乾燥 3-4級以上 湿潤 3-4(2)級以上	・表側に適用 ・()内は、特殊プリント、濃色セルロース系素材に適用
○ 水	JIS L 0846	変退色 3-4級以上 汚染 3-4級以上	・表側に適用

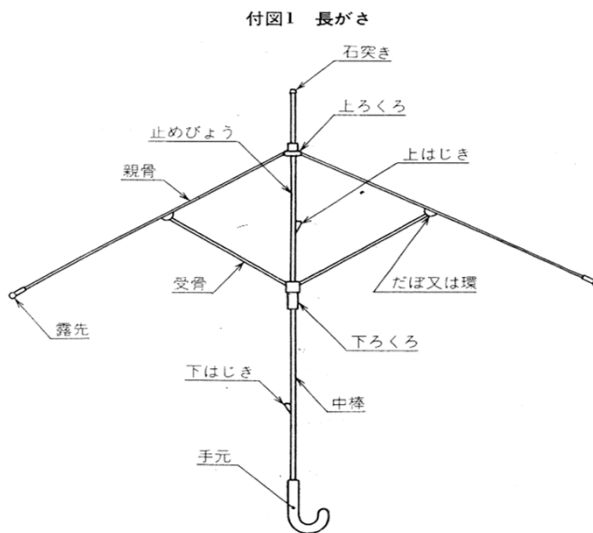
5. 物性および安全性

試験項目	試験方法	判定基準	特例判定基準及び備考
○ 操作性	100回繰返し開閉操作	各部に亀裂、破損、変形がないこと。スムーズに動くこと。	
○ 漏水性	JIS S 4020-1994 降雨量20±2mm/h 降雨時間20分	傘の内部に伝水がなく、傘の内部への水滴が15滴以下。	刺繍・レース部分は判定除外 (その旨付記する)
○ 撥水性	JIS L 1092 スプレー法	3級以上	・撥水表示品にのみ適用
○ 耐水度	JIS L 1092 低水圧法	250mm以上	
親骨の曲げ強さ	親骨の先端部に6Nの荷重を傘の内側方向へ加え1分間保持	各部に亀裂、破損、変形がないこと。	
親骨の曲げ強さ	3点負荷治具使用 速度50mm/min 支点間10cm	50N以上	・露先から10cm程離れた部分を採取する
○ 中棒の曲げ強さ	JIS S 4020-1994 荷重: 一般 15N 学童 20N	残留たわみが全長の1/10以下で、各部に異常が無いこと。	・長傘に適用
○ 中棒の引張強さ	中棒接合部の抜け方向に350Nの静荷重を1分間保持	中棒接合部に緩み、抜けのないこと	・折傘に適用
○ 傘骨の強さ	回転トルク試験機使用	各部に亀裂、破損、変形がないこと	・長傘(一般、学童共)100回転 ・2段折傘 40回転 ・3段折傘 20回転

[21]傘類品質基準(2/3)

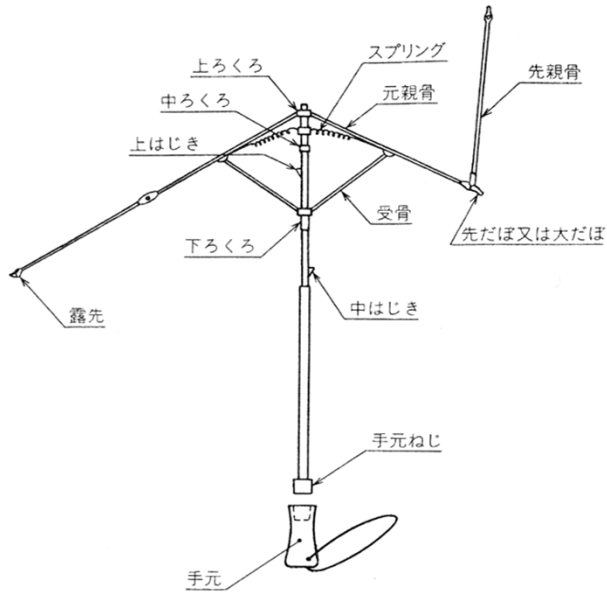
製品検査(参考)

外 観 材 料	傘生地	破れ・穴・織り傷・汚れ たるみ・張り過ぎ・縁掛けのめくれ
	石突き	曲がり・ゆるみ・バリ・形状・表面積(20 mm ² 以上)
	漏水性能	水漏れ・表面はっ水
	親骨	曲がり・ねじれ・彎曲性・メッキむら・バリ・ダボのピン抜け
	受け骨	メッキ・塗装ムラ・バリ・曲がり・ねじれ
	露先	形状・取付状態[ほつれ・位置・糸始末]
	ろくろ	抱き針始末・ひび割れ・形状
	中棒	曲がり・亀裂・メッキムラ・錆・傷バリ・ベタツキ・ガタツキ・ぐらつき・抜け
	柄合わせ	布目が縁に垂直・図柄のくい違い
	特殊プリント	とび・かすれ・色差
構 造	はじき	抜け・下ろくろと上はじきで指を挟む危険性
	手元	傷・バリ・コーティングムラ・ベタツキ・ガタツキ・ぐらつき・抜け
	開閉テスト	はじき・ろくろの動き、開きのスムーズさ
	回転テスト	バランス・中棒の亀裂・親棒の異常
縫 製	運針数	中縫[12針/3cm以上]
	とじ	中とじ・口づけ・チップ
	色違い	縫糸・傘生地
	縫い不良	ハンドリング不良[縫い外れ・縫曲がり・たるみ・縫止め・縫い継ぎ]
	連続縫不良	マシン・糸調子[糸切れ・引きつれ・目飛び]



[21]傘類品質基準(3/3)

付図2 折りたたみがさ
(1) スプリング式



(2) ホック式

